

最終更新時間：2016 年 06 月 18 日 22 時 28 分 20 秒

無償アップグレードをやってみたメモです。試した PC は古いものです。(Core2 Duo の自作 PC と AMD C60 のノート)

要点は、

インストール後一ヶ月以内なら元に戻せる  
一度インストールしておけば、ハードウェアが同じならば無償期間以降でも再インストール可能

なので、とりあえず無償期間中にアップグレードしてすぐに戻すというのがいい手だと思います。インストールメディアを作っておけば好きなときにアップグレードできます。

注意点

- ・元に戻せるといっても完全には戻らない。完全に戻したい場合フルバックアップは必須
- ・パーツ交換をするとライセンス認証が切れる可能性が高い

必要なもの

- ・DVD-R メディア (Win10 インストールメディア)
- ・Win7 の場合 CD-R メディア (修復ディスク)、Win8.1 の場合 USB メモリ (回復ドライブ)
- ・外付けハードディスク (フルバックアップ用)

アップグレード前にやるべきこと【重要】

- ・Windows10 インストールメディアの作成
- ・メモリのテスト
- ・システムの診断・修復
- ・念のためタスクスケジューラーの設定をバックアップ
- ・フルバックアップ

以下は実行記録です。

Windows8.1(32bit) 自作デスクトップ (Core2 Duo 1.8GHz/2GB RAM)

インストールメディアを作成してインストール。20 時間ぐらいかかるので調べたところメモリの増設が原因らしい。もともとは 2GB で 4GB まで増設できる MB だが古い (Core2 Duo) ためか実際には 3GB までしか認識せず、2GB に戻したところ 3 時間ぐらいで済むようになった。インストールできたかと思いきや、

0x8007002C-0x4000D  
MIGRATE\_DATA 操作中にエラーが発生したため、インストールは SECOND\_BOOT フェーズで失敗しました

この対策は、コマンドプロンプト (管理者) から、

sfc /scannow

を実行後最初からやり直しエラー無しでインストール完了。戻すのは 30 分ぐらいで完了。しかし問題発生。タスクバーが動作せずシャットダウンすらできず。エクスプローラが応答なし状態で、常に CPU 使用率が 50%以上。原因はタスクスケジューラーの設定は元に戻らないため。Win7 ではIME が動かなくなるらしい。結局あきらめ再び Win10 にアップグレードしそのままとした。

Windows7(64bit) ノート (acer aspire one 722 AMD C60 1.33GHz/2GB RAM)

上記失敗の経験を基に事前準備・対策「アップグレード前にやるべきこと」した上で、4 時間ぐらいでアップグレード完了。通常のダウングレード手順で元に戻した。一見問題なさそうだがタスクスケジューラーの設定はおかしくなっていた。念のためフルバックアップから戻した。

## その他参考サイト

[Windows 7 を当面使い続けるつもりの方は注目！ Windows 10 の“ 無償アップグレード権 ”だけを確保できる方法](#)

[Windows10 へのアップグレードに失敗しないための注意事項やチェックポイント](#)

[Windows10 にアップグレードした後、元の OS に戻す方法](#)

[Windows 10 アップグレードの一般的なエラーのトラブルシューティング](#)

[【少し面倒】無償アップグレードの Windows 10 をクリーンインストールする手順](#)

[Windows 10 をクリーンインストールする手順と注意点](#)

---